

五泉市 議会だより



第50号
令和元年
7月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911 (内線370) FAX.0250-43-2716



こばと保育園 セタ行事でのひとコマ

◆目次	ページ
第1回 6月定例会	2
委員会審査報告	
総務文教常任委員会	3
市民厚生常任委員会	4
建設産業常任委員会	5
議員別議案賛否一覧表	6
一般質問（7名）	6
当局報告	6
請願・発議	7
永年勤続議員表彰	8
編集後記	8



議長室から



議長
林 茂

山形県沖を震源とする地震の発生により、本県及び山形県において家屋倒壊などの被害が発生しました。被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興が図られるよう願っております。

今年は、多くの県民の犠牲を払った新潟地震発生から五十五年目の年であり、改めて防災・減災対策の取り組みを盤石にしていく必要性を痛感した次第であります。

六月十四日から二十八日まで開催された令和元年第一回六月市議会定例会では、条例改正等の専決処分に加え介護保険条例の一部を改正する条例や、プレミアム付商品券事業二億六千九百三万円、地域介護・福祉空間整備事業補助金二百十万円などを盛り込んだ一般会計補正予算など、当局提案議案十五件に、請願一件、議員発議一件などを合わせて審議し、承認、可決、採択などいたしました。

令和元年度の一般会計予算は、今回の補正により当初に比べ三億五千六百九十万五千円増えて二百四十六億三千六百九十万五千円になりました。

令和元年 第1回

6 月 定例会

補正予算など17議案を可決・承認

令和元年第1回6月定例会が6月14日に招集され、6月28日までの15日間の会期で開催されました。

初日の14日は、会期の決定、議長報告、当局報告、繰越計算書の報告、3件の専決処分を承認した後、議員派遣、市政一般に関する質問を行いました。

2日目の17日は、引き続き市政一般に関する質問をすべて行った後、議案9件を一括議題として当局の提案説明、議案に対する総括質疑を行い、各常任委員会に付託しました。また請願1件も所管常任委員会に付託しました。

最終日の28日は、当局報告の後、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて採決が行われ、それぞれ可決・採択しました。その後、固定資産評価員の選任に関する人事案件1件、日程追加された市長からの追加議案2件と議員発議1件、議員派遣などを審議・採決して閉会しました。

6月定例会の日程

月 日		内 容
6 月	14日(金)	本会議（開会、会期決定、議長報告、当局報告、議案審議、議員派遣、一般質問）
	17日(月)	本会議（一般質問、議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
	20日(木)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会
	21日(金)	建設産業常任委員会
	28日(金)	本会議（当局報告、委員会審査報告・採決、議案審議、議長報告、議員派遣、閉会）

総務文教常任委員会 審査報告

◎剣持 雄吾
○長谷川政弘

羽下 広野

貢 甲

熊倉 政一
今井 博

松川 徹也

去る六月十七日の本会議において、本委員会に付託された事件は、

議第六十八号 五泉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第七十号 工事請負契約の締結について

議第七十一号 令和元年度五泉市一般会計補正予算（第一号）のうち本委員会所管に属する事項

請願第二 三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度二分の一還元に係る意見書の採択を求める請願

以上の四件であります。

審査にあたりましては、当局の出席を求め慎重に審査を行った結果、お手元に配付申し上げました委員会審査報告書及び請願審査報告書に記載のとおり、それぞれ決定した次第であります。

なお、審査経過における主なる質疑について申し上げます。

まず、企画政策課所管分の質疑の中で、議第七十一号 令和元年度五泉市一般会計補正予算（第一号）のうち、（総合戦略）五泉市プロモーション事業の時間外勤務手当と消耗品費の増額について、

このたび新潟テレビ21より、県内の三十市町村を特

集していくという番組の企画で取材の依頼があり、この取材に対応するために追加するものです、との説明を受けて、

どうして残業の手当の追加が必要なのか、とただしところ、

残業というよりも、平日の夜間ですと取材先の対応ができない部分について、土曜日や日曜日、祝日に職員が取材に対応するという想定をしています、との答弁でありました。

次に、財政課所管分の質疑の中で、議第七十号 工事請負契約の締結については、契約の目的である複合施設造成工事の担当課、都市整備課にも出席を求め設計内容について質疑を行いました。

まず、土工に関しては金津の砂を使うということだが、この辺りでは安田の砂も有名で、安田であれば地理的にも近く交通の問題はないという考え方もある。なぜ金津の砂とするのか、とたまたところ、

土砂の選定については、新潟県の積算基準に基づいて、新津管内の金津を選定して設計しています、との答弁でありました。

また、土砂の積算については、土砂の単価とダンブの運搬費用を設計に盛り込んでいるとの説明であったが、安田から運んでも、費用はさほど変わらないと考える。金津からとなると十トン程度のダンブが金津峠

を越えて狭い道路を通って、一日八十数台の往復が想定され、五泉のまちなかでの交通渋滞や交通事故等も心配される。どうして交通の面を考慮して新津管内という指定をはずさなかったのか、とたまたところ、

土砂取り場所の選定については、交通の問題も課題もあるのではないかとということで、そのとおりだと思っています。今回議決いただいたのちに、請負業者と交通経路あるいは土砂取りの現場等も含め今後よく検討していきたい、との答弁でありました。

さらに、業者と相談することだが、最終的に金津から運ぶとなった場合に、交通に関する懸念についてはどのように考えているのか、とたまたところ、

本会議でもそのような心配があると課題としていただきましたので、十分検討したいと思います。金津峠からの経路は、県道白根安田線がメインとなるだろうということも今十分考えられますし、これから三本木中野三号線という新たな道路も開通する見込みでありますので、その辺も踏まえた中で運搬路を検討していきたい、との答弁でありました。

これに対し、三本木中野三号線が開通したとしても、あそこには五泉北中学校がありダンブが相当に通るといことなので、細心の注意を払って業者のほうと相談していただきたい、との要望がなされました。

このほか、細部にわたり詳細なる質疑応答が行われました。

(◎委員長 ○副委員長)

市民厚生常任委員会 審査報告

◎佐藤 渉
○伊藤 昭一

町田 俊夫
鈴木 良民

白井 妙子
桑原 一憲

去る六月十七日の本会議において、本委員会に付託された事件は、

議第六十九号 五泉市介護保険条例の一部を改正する

条例の制定について

議第七十一号 令和元年度五泉市一般会計補正予算

(第一号)のうち本委員会所管に属する事項

議第七十二号 令和元年度五泉市国民健康保険特別会

計補正予算(第一号)

議第七十三号 令和元年度五泉市介護保険特別会計補

正予算(第一号)

議第七十五号 令和元年度五泉市後期高齢者医療特別

会計補正予算(第一号)

以上の五件であります。

審査にあたりましては、当局の出席を求め慎重に審査を行った結果、お手元に配付申し上げました委員会審査報告書に記載のとおり、決定した次第であります。

なお、審査経過における主なる質疑について申し上げます。

まず、健康福祉課所管分の質疑の中で、令和元年度五泉市一般会計補正予算(第一号)のうちプレミアム

付商品券事業に関連して、

本会議では、非課税者だと思われたくない人がいるのではという話があったが、商品券の申請及び購入窓口は、市役所や支所の入口から入ってすぐだと目立つのではないかと、とたまたところ、

窓口は、本庁は市民相談室、支所は事務室の向かいにある相談室で行うよう準備しております。

また、子育て世帯の方は申請行為が必要ありませんので、申請書の受付時に手続きにいらっしゃる方が非課税の方ではないかという推測はされるかもしれませんが、部屋の中に入っていた見ええないよう配慮をしたいと思っています。他に配慮できるところがないかを検証し進めていきたいと考えています、との答弁でありました。

また、対象者一万人の半分しか購入しなかった場合、国庫補助金はそれに応じて返還せざるを得ないのか、とたまたところ、

事業費補助金は換金額から販売金額を引いたプレミアム分が補助対象になりますので、実際に使用され換金された結果に応じた補助金となります、との答弁でありました。

次に、こども課所管分の質疑の中で、令和元年度五泉市一般会計補正予算(第一号)のうち保育園運営事業に関連して、

保育料に含まれていない給食費・バスによる送迎費・教材費については、保育料の無償化の対象にならないということで別途徴収できることになっており、バスを利用している方が二十五％程度ということ受受益者負担の観点からバスの利用料をいただくという方針でございます、との説明を受けて、

徴収できる部分も五泉市の特段の政策として無償化にするべきではないか、すべて無償化にすることによって五泉市の子育て支援に対するアピール度がすぐ上がるのではないかと、とたまたところ、

このたびは三歳から五歳の子どもの無償化ですが、国としても将来的には0歳から二歳の子どもに対しても範囲を広げたいという方針が示されておりますので、今後の動向も注視した中で給食費あるいはバスの取り扱いをどうするのかということで検討させていただきたいと思ひます、との答弁でありました。

このほか、細部にわたり詳細なる質疑応答が行われました。

(◎委員長 ○副委員長)

建設産業常任委員会 審査報告

◎阿部 周夫
○佐藤 浩林 茂
牛腸 利栄
平井 敏弘
深井 邦彦

去る六月十七日の本会議において、本委員会に付託された事件は、

議第七十一号 令和元年度五泉市一般会計補正予算
(第一号)のうち本委員会所管に属する事項

議第七十四号 令和元年度五泉市下水道事業特別会計
補正予算(第一号)

議第七十六号 令和元年度五泉市水道事業会計補正予算
(第一号)

以上の三件であります。

審査にあたりましては、当局の出席を求め慎重に審査を行った結果、お手元に配付申し上げました委員会審査報告書に記載のとおり、決定した次第であります。

なお、審査経過における主なる質疑について申し上げます。

議第七十一号 令和元年度五泉市一般会計補正予算(第一号)のうち、農林課所管分の質疑の中で、

担い手育成事業、農業経営基盤パワーアップ支援事業補助金八百五十三万一千円の増額について、認定農業者等に対する機械、施設補助について四月末までの募集の結果、申し込みが多く、不足分を追加するもの

であります、との説明を受けて、

補助事業の対象となる生産組織の設立の状況はどうなっているのか、とただしたところ、

昨年二法人が新たに立ち上がり、現在の生産組織、法人は十二法人であります、との答弁でありました。

これに対して、高齢化が進み、耕作放棄地がふえることに対して、認定農業者を含めて生産組織の拡大をしていく方向で努めてもらいたいかがか、とただしたところ、

農家をやめる方がふえ、維持管理が困難になった農地の受け手として、こういった生産組織が必要であると考えていますので、勉強会を開催するなどの啓発活動を含めて、担い手の育成に今後も努めてまいりたい、との答弁でありました。

次に、農産物生産推進事業二十三万円の増額について、猿害対策等事業補助金として、電気柵や、追い払い花火に対する補助金の不足分を追加するものであります、との説明を受けて、

ここ数年の猿の農作物被害の推移について、さらに説明を求めたところ、

猿被害の被害面積と被害金額は、平成二十七年が百一アール、百十二万円、平成二十八年が四十五アール、四十八万円、平成二十九年が五十七アール、四十七万円、平成三十年が十九アール、二十六万円です、との答弁でありました。

これに対して、平成二十七年の被害金額から徐々に被害が減少していることから、事業の効果が出ていると思うが、これまで、事業の内容はずっと変えずにやってきたのか、とただしたところ、

事業の内容は変わっていませんが、このほかに猿害対策として、猿の出没地域を巡回して、軽微な追い払いを行ったり、箱わなの餌の確認をするといったパトリール作業も、現在、シルバー人材センターに委託して行っています、との答弁でありました。

これに関して、行政側からの猿害対策を確実に行った上で、地元集落でも防護や追い払いの問題に対応するような啓発をすべきと考えるかがか、とただしたところ、

現在、年一回程度、集落に地域の方から集まってもらい、有害鳥獣の勉強会をしています。今後も、猟友会や、パトリール作業、担当課も含めた体制をつくり、地域の協力が得られるよう、説明をしていきたいと考えています、との答弁でありました。

このほか、細部にわたり詳細なる質疑応答が行われました。

(◎委員長 ○副委員長)

議員別議案賛否一覧表【○：賛成，×：反対，－：欠席】

提出者	議案番号	議案名	議決結果	議 員 名 (議席番号順)																		
				1 松川 徹也	2 深井 邦彦	3 桑原 一憲	4 白井 妙子	5 今井 博	6 佐藤 浩	7 長谷川 政弘	8 伊藤 昭一	9 佐藤 渉	10 平井 敏弘	11 牛腸 利栄	12 鈴木 良民	13 熊倉 政一	14 広野 甲	15 剣持 雄吾	16 羽下 貢	17 町田 俊夫	18 阿部 周夫	19 (欠番)
市	議第65号	専決処分の報告承認について（五泉市税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第66号	専決処分の報告承認について（五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第67号	専決処分の報告承認について（五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第68号	五泉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第69号	五泉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第70号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
	議第71号	令和元年度五泉市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第72号	令和元年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第73号	令和元年度五泉市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		※1
長	議第74号	令和元年度五泉市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第75号	令和元年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第76号	令和元年度五泉市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第77号	五泉市固定資産評価員の選任について（税務課長 早見 裕）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第78号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議第79号	令和元年度五泉市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願者	請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	採択	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
議員	発議第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっていません。

一般質問(通告順)

6月定例会では7人の議員が一般質問を行いました。通告順に従い、質問者の氏名をお知らせします。

通告順	質問者氏名	通告順	質問者氏名	通告順	質問者氏名
1	阿 部 周 夫	4	桑 原 一 憲	7	今 井 博
2	町 田 俊 夫	5	松 川 徹 也	8	広 野 甲
3	羽 下 貢	6	欠 席		

当局報告

定例会初日の6月14日と最終日の6月28日、市長から次のとおり議会で報告を受けました。

- ◆【6月14日報告】告訴申立事件について
- ◆【6月28日報告】6月15日から16日にかけて発生した強風被害について
- ◆【6月28日報告】6月18日に発生した山形県沖を震源とした地震への対応について

請 願 に つ い て

— 一次の請願を採択しました。 —

◆請願第 2

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書の採択を求める請願

発 議 に つ い て

— 一次の発議を可決しました。 —

◆発議第 3 号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書の提出について

【内 容】

子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな人間関係の中で教育が行われることは保護者・地域住民・教職員共通の願いです。そのために、小中学校の全学年における30人以下学級の実現等が可能となる教育条件整備のための教育予算の確保が不可欠です。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっていくにもかかわらず、10年以上にわたり、国による教職員定数改善計画のない状況が続いています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用の増加などにみられるように教育条件格差も生じています。自治体が見通しをもって安定的に教職員を配置するためには、国段階での定数改善計画の策定・実行が必要です。

さらに、子どもの貧困への対応、障害者差別解消法の施行にともなう障がいのある子どもへの合理的配慮、外国につながる子どもたちへの支援、深刻化するいじめ・不登校などへの対応など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しています。また、学校に求められる役割は増大しています。一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな指導・学びの質を高めるための教育には、教職員定数改善が不可欠です。

新潟県では2001年度から小学校1・2年生において、県独自で32人以下学級が導入されました。また、2015年度からは、小学校3年生～中学校3年生まで35人以下学級が拡充され、小中全学年での少人数学級が実現しました。全国的にも少人数学級を拡大する自治体が増えてきています。しかし、小学校3年生からの35人以下学級については「1クラス25人以上」の下限設定があり、すべての学校で実現しているわけではありません。

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことから、「教育は未来への先行投資」であることが多くの国民の共通認識となっています。

よって国におかれましては、子どもたちが全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるように次の事項を実現することを強く要望します。

記

1. 少人数学級を推進すること。その際の学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【送付先】内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

— 意見書については、すみやかに関係省庁へ提出しました。 —

地域防災訓練が実施されました（6月9日 川東中学校）



全国市議会議長会・北信越市議会議長会から 永年勤続議員表彰

4月に福井市で開催された北信越市議会議長会定期総会及び6月に東京都で開催された全国市議会議長会定期総会において、市政発展に尽くされた功績により表彰を受けられ、定例会初日の6月14日冒頭に表彰状の伝達が行われました。



熊倉 政一 議員
(議員在職15年)

羽下 貢 議員
(議員在職15年)

剣持 雄吾 議員
(議員在職15年)

鈴木 良民 議員
(議員在職15年)

※表彰規定に基づき、合併前の村松町議会議員在職期間は換算して通算在職年数としています。

編集後記

元号が「平成」から「令和」へ変わり新しい時代の幕開けです。この議会だよりが皆様のもとに届く頃には夏真っ盛りの事と思います。暑い夏のさなか体調管理に十分に気を付けて過ごしていただければと思います。

六月三十日五泉市では大雨により「洪水警戒レベル3」が発令になり、避難準備、高齢者等の避難開始の呼びかけがされました。しかしながら避難された方は0人だったようです。近年、自治体や報道機関などでの呼びかけも、落ちていく行動できるように早め早めになってきています。しかしながら、なかなか実際の避難行動に何故つながらないのか。いざ災害が発生した直後は、行政が行う活動には限界があります。ご家庭にある「災害ハザードマップ」をこの機会にあらためて確認し、日ごろから災害への備えをしておきましょう。

広報委員会

委員長 伊藤 昭一
副委員長 佐藤 浩
委員 阿部 周夫
委員 鈴木 良民
委員 白井 妙子
委員 深井 邦彦

〃 〃 〃 〃

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911